

中学生・高校生防災ジュニアリーダー育成合宿に参加

本校は、防災教育にも力を入れており、先の3月に実施の明南単独で行う東北でのボランティア活動や鳥羽まちづくり協議会「安全な町づくりチーム」との協働による、防災教育の普及も行っています。

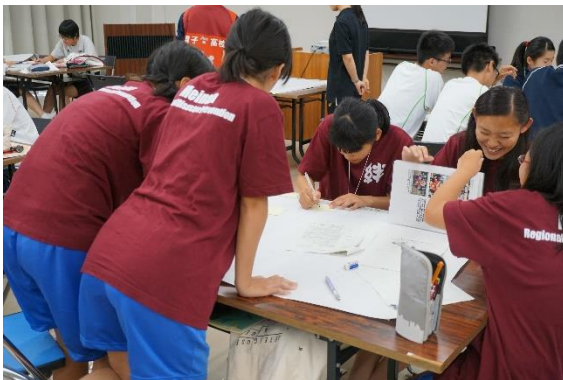
今回、7月26日(水)から2泊3日で西脇市の青年の家で育成合宿が実施され、1年次生5名が参加しました。

初日は、講義中心で防災とボランティアの基礎を学び、2日目午前は、心肺蘇生法とHUG(避難所運営ゲーム)を行いました。本校の生徒は1年次生でしたが、既に心肺蘇生法もHUGも経験しているため、緊張せずに落ち着いて行っていたようです。2日目午後には、防災アクションプランを作成し、夜に発表会を行いました。最終日は、三木市の広域防災センターを訪問し、煙体験、地震体験、放水体験を経験し、災害の恐ろしさを肌身で感じとったようです。

担当の先生の話から、本校の参加生徒は希望者で構成されている点、事前に防災学習を行っている点が特徴的のようです。高校入学後、最初はたどたどしい所も多々あったと思いますが、たった数か月で、自分で考え、判断し、表現(発表)することができるようになり、本当に高校生の持つ力は素晴らしいと思います。

前号「体験入学」でも書きましたが、総合学科の生徒は授業だけでなく、様々な機会を通して成長していていると思います。皆さんも、卒業までに出来る限り多くの体験を通じて、自己を更に高めていって欲しいと思います。

[アクションプラン作成]



[アクションプラン発表]

